

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804330

案件番号 :1884521

主分野課題 :ガバナンス/公共安全

副分野課題:

使用言語 :英語

案件概要

本研修は各国警察の幹部を対象に、日本警察の民主的な制度や取り組みを紹介し、将来の最高幹部として必要な知識や経験を身につけるものである。また、各国の警察が直面する課題を共有して、その対応策について議論を行う。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 日本の民主的な警察を参考にして、所属する警察の組織運営上の問題点を具体的に把握し、その対応策を策定する。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本警察の民主的な制度や取り組みを学び、その特徴について理解する。 2. 各国警察の現状や課題を議論等を通じて共有する。 3. 所属する警察が抱える課題への対応策を策定し共有する。 	<p>【対象組織】 中央警察組織</p> <p>【対象人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中央警察組織の課長級以上であり、階級が警視以上 2. 10年以上の警察での職務経験 3. JICAもしくは警察庁による同種の研修に参加したことがない 4. 十分な英語力を有する 	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 日本警察の概要をPolice of Japanを読むことにより把握すると共に、カンントリーレポートの策定を通じて自国の概要を予め整理する。</p> <p>【本邦活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義・視察 (1)講義：日本警察の制度、人事、地域警察、組織犯罪対策など (2)視察：都道府県警察本部、警察署、交番、派出所など 2. 議論・発表 (1)カンントリーレポートの発表と質疑応答 (2)グループワーク：グループディスカッションとレポート発表 (3)アクションプランの作成と発表 	本邦研修期間	2018/7～2018/7
	担当課題部	産業開発・公共政策部
	所管国内機関	JICA東京（産業公共）
	関係省庁	警察庁
実施年度	2018～2020	
主要協力機関	警察大学校国際警察センター	
特記事項 及び ホームページ		